

○令和8年度適切な価格転嫁の推進に向けた支援事業業務委託に係る質問・回答

通し番号	質問日	質問	回答
1	2月6日	仕様書に『1,000社との通話を目標』とあるが、『架電数(リスト数)』か、『担当者と通話し、ヒアリングが完了した件数』か。完了件数の場合、不通時の再架電回数の目安はあるか。	1000社は「通話数」の目標である。
2	2月6日	JV(共同事業体)として応募を検討しているが、必要書類や留意事項はあるか。	本事業は、いわゆるJVや、共同企業体との契約を想定していない。複数企業で連携して本事業の実施をする場合には、業務の一部を再委託していただく必要がある。委託契約締結後、再委託先、再委託内容、再委託理由を明記し、書面により県から再委託の承認を得ていただく必要がある。
3	2月6日	パートナーシップ構築宣言登録企業の情報リストは提供いただけるか。	県でリストは所有していない。パートナーシップ構築宣言のポータルサイトに掲載されている企業一覧を参照していただきたい。
4	2月6日	パートナーシップ宣言ポータルサイトの登録企業リストには、企業の連絡先の掲載がないと認識しているが、県からの情報提供はあるか。	県では県内企業約5万社のリストを所有しており、契約締結後、リストを提供する。受託者において、パートナーシップ構築宣言企業一覧と突合していただきたい。
5	2月6日	専門家派遣の回数について記載があるが、これは1社あたりの『上限』という認識でよいか。	御認識のとおり。
6	2月6日	未訪問に今回至った200社の理由などはあるか。(前回の目標架電数ではそもそも訪問アポに繋がる母数が少なかったなど)	新規訪問200社は、訪問済企業だけでなく、県内企業に幅広く支援を行き届かせたいという趣旨で設けた目標である。
7	2月6日	今回の事業成果でお答えできれば構わないが、どのくらいパートナーシップ構築宣言は増えたか。	今年度事業により増加した件数を示すことは難しいが、登録企業数について、令和7年1月時点で約1,700社であったところ、令和8年2月時点で約2,600社となっている。
8	2月6日	価格転嫁が進んでいない業種(トラック運送業や建設業など)への重点的な支援が想定されるが、千葉県として特に注力したい業種やエリアの優先順位はあるか。	例に挙げていただいた業種に対して重点的な支援を行うといった提案をしていただいて構わないが、具体的な支援先については、契約締結後、協議の上で決定する。
9	2月6日	本事業では『広報(セミナー)』と『個別支援(専門家派遣・架電)』の2つの側面があるが、予算配分や評価のウェイトとして、どちらをより重視しているか。(例: 広く周知することを優先か、個別の成約・転嫁成功事例を作ることを優先か)	質問に記載の内容について、予算配分の傾斜はない。どちらを重視するかについては、募集要項記載の「審査項目及び基準」を参照の上、提案をいただきたい。

○令和8年度適切な価格転嫁の推進に向けた支援事業業務委託に係る質問・回答

通し番号	質問日	質問	回答
10	2月10日	令和7年度実施した専門家派遣 1回あたりの平均訪問時間と最短と最長時間を教えてください。	今年度事業における専門家派遣の訪問時間については、正確な時間を集計していないが、1回の訪問あたり1時間程度となることが多く、訪問先企業の都合により、訪問時間は30分から90分程度となっている。 なお、上記の訪問時間は、今年度事業における参考値であり、提案にあたっては、仕様書記載の業務内容を実施するにあたっての必要時間を見込んだうえで、提案すること。
11	2月10日	アンケート回答者数 約3,500件に対し、送付総数は何社の送付したのか。	県内企業3万社に対し送付している。
12	2月10日	令和7年度はアンケート依頼・事業告知はどの方法で実施したのか。	アンケートについては、依頼文を添付の上、郵送で発送している。
13	2月10日	専門家派遣の対面、WEBの令和7年度の比率を教えてください。	原則として全ての企業に対面で実施している。
14	2月10日	仕様書2p「用紙及び封筒は受託者が用意する。ただし、必要に応じて県が提供する」とありますが、県が提供する際の具体的な条件(提供枚数やタイミング)を教えてください。	アンケート発送数を上限とし、規格は長形2号又は角形3号とする予定である。 提供時期については、委託契約締結後に協議の上、決定する。